

学年・教科	中学校第2学年 家庭科
題材（教材）名	「作って楽しい布作品」（被服実習）
題材の目標	・制作に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い方について理解できる。 ・資源や環境に配慮して布を用いた物の制作計画を考え、工夫して制作できる。

【個別最適な学び・協働的な学びの場面】

①クラスルームで過去の板書を提示

家庭科の授業では、「その日の学習内容」は黒板で内容を確認できますが、前回欠席するなど、進度が遅い生徒向けの板書はされていません。

そこで、家庭科クラスルームで今までの授業の板書写真を公開することで、生徒は自分の進度に合った作業をすることができていました。



図1 作業中にタブレットで作業内容を確認する生徒

②クラスルームで先の学習内容を提示

過去の授業以外にも、作品完成までの資料も合わせて提示することで、先に進みたい生徒は資料を見ながら先に進むことができる環境を準備していました。



図2 前時の板書を常時表示

③生徒が自ら考え、自ら行動する授業へ

このほかにも、実習の1時間目から完成までの時数とそれぞれの時間の作業内容を常に示すことで、生徒たちが見通しをもって活動し、作業の進度を調整することができていました。

生徒自身が自分の課題、目標を明確にし、作業方法を自分で確認できる環境を用意することで、生徒が自ら考え、行動する授業に近付いていくと考えられます。



図3 クラスルームの様子

家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通してよりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を育成します。

本単元では、ICT機器を活用することで、生徒が安心して作業できるようになったり、生徒間での教え合いや教師のサポートが余裕をもって行える授業づくりができるようになったりして、深い学びにつながりました。